日本の交響作曲展——八

# 東北の作曲家たち

一九八四



これから新響は、地方に在住し、地道に作曲活動を続けている方々の作品も、是非プログラムに加えてゆきたいと思う。

地方で生れた作品は、なかなか中央では紹介されにくいし、まして交響作品となると、在京のプロのオーケストラに演奏を期待しても、それは到底無理だからである。

本日演奏される作品は、新作をふくめて、すべて私の独断で選ばせて頂いた。勿論、このほかにも、それぞれ特色のある優れた作品が多い。

来年は、九州や沖縄の作曲家たちを、紹介できればいいと思っている。

新交響楽団第103回演奏会

# 日本の交響作品展——8
# 東北の作曲家たち

指　揮　芥川也寸志
箏　松坂尚子
語　り　熊倉一雄
演　奏　新交響楽団

---

伊藤俊幸
*Toshiyuki Ito*

オーケストラの為のコンポジション
*Composition for Orchestra*

佐藤喜美
*Kimi Sato*

前奏曲「エメラルドの幻影」
*Prélude "Image émeraude"*
*pour l'orchestre d'amateurs*

林　芳輝
*Yoshiteru Hayashi*

箏と管弦楽の為のラプソディ
*Rhapsody for Soh and Orchestra*

安達弘潮
*Hiromi Adachi*

語部とオーケストラの為の交響的物語
「遠き神々の物語」
*Symphonic Story for Kataribe and Orchestra*
*"THE STORY OF GODS IN OLD DAYS"*

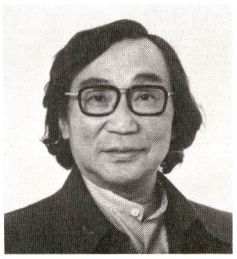
片岡良和
*Yoshikazu Kataoka*

抜頭によるコンポジション
*Composition on Batou*



松坂尚子

昭和36年、東京芸術大学邦楽科卒業。宮城喜代子、小橋幹子、上木康江らに師事。野坂恵子、白根きぬ子と共に泉会を結成し、昭和36年から39年まで毎年東京にてリサイタルを開き、藤井凡太、広瀬量平その他多くの現代邦楽曲を初演した。昭和44年より盛岡に居住し、「子供と箏」「箏曲の歴史をたどって」を主催する他、「箏・尺八リサイタル」「箏とオーケストラの響き」などを開催。また、59年1月には西独ミュンヘンにおいて、国立民族博物館・音楽博物館主催「箏リサイタル」に出演するなど、意欲的な演奏活動を行なっている。　宮城会大師範・森の会会員。



熊倉一雄

テアトル・エコー所属。
「日本人のへそ」「表裏源内蛙合戦」「11ぴきのネコ」「道元の冒険」等、一連の井上ひさし作品の演出・出演をはじめ、「ノーセックス・プリーズ」「一発逆転」等、多くの翻訳劇の演出・出演も手がける等、テアトル・エコーの代表的演出家、俳優として活躍、現在に至る。
また「ヒッチコック劇場」のヒッチコック「ものしり博士」のケペル先生、「ひょっこりひょうたん島」の海賊トラヒゲ、「ゲバゲバ90分」等に出演。

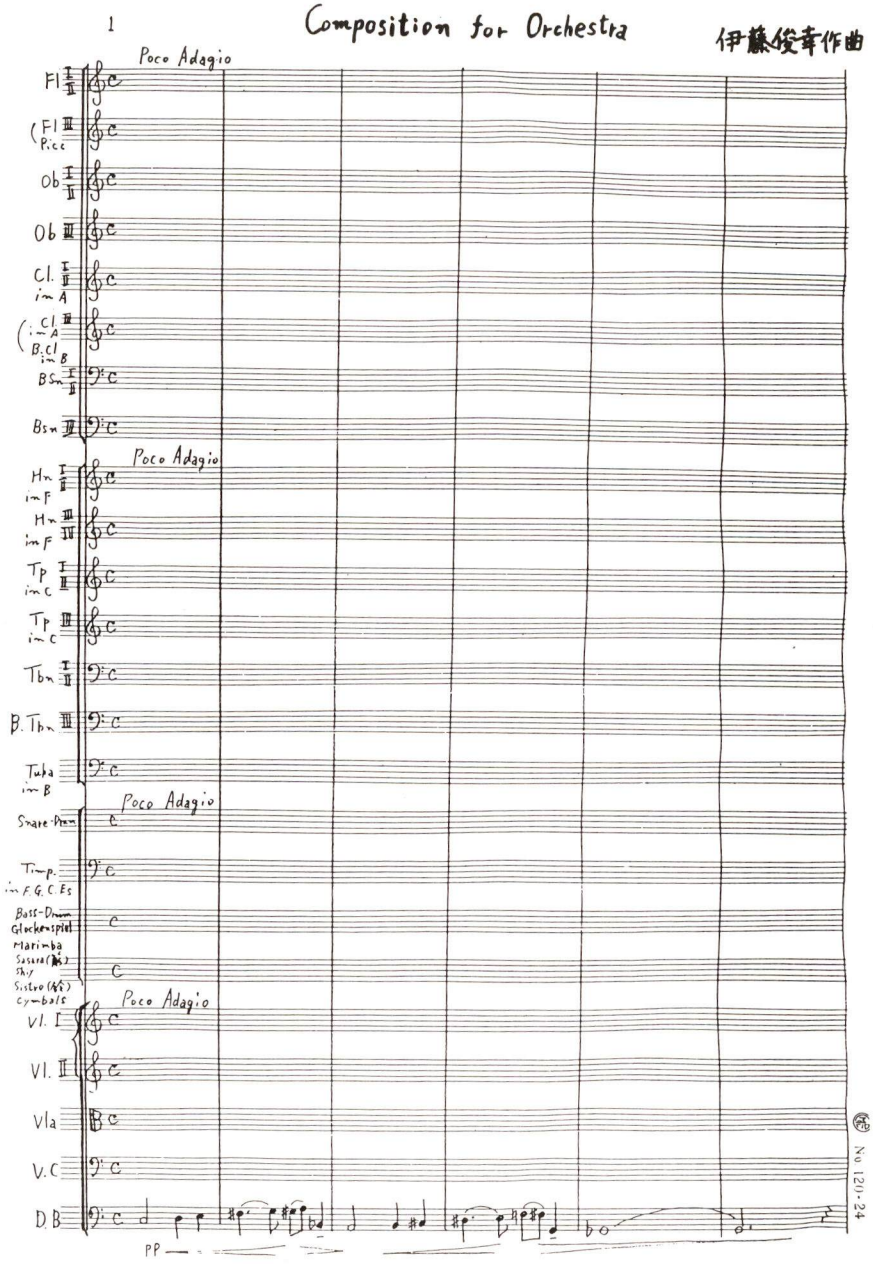
---

*1984*年*4*月*1*日(日)*2*時
**東京文化会館**

**後援／毎日新聞社**
**協賛／日本作曲家協議会**
**主催／新交響楽団**

# オーケストラの為のコンポジション

**作曲年代**　昭和57年
**初　　演**　昭和57年6月20日　作曲者指揮　弘前大学管弦楽団
**楽器編成**　フルート3（3番はピッコロ持替）、オーボエ3（1番はコール・アングレ持替）、クラリネット3（3番はバス・クラリネット持替）、ファゴット3、ホルン4、トランペット3、トロンボーン3、チューバ1、ティンパニ、バス・ドラム、スネア・ドラム、シンバル、トライアングル、グロッケンシュピール、マリンバ、鈴、簫、鉦鈸、鼓、弦5部



# 伊藤俊幸





**昭和34年**　山形大学特設音楽科卒業(作曲専攻)
作曲、指揮を中田一次氏に師事。

**昭和34年～**　高校教員として勤務する一方、地方におけるオーケストラの育成を志し、酒田フィルハーモニー管弦楽団、山形交響楽団等の設立者の一人として活躍。

**昭和49年～**　(社)山形交響楽協会に勤務し、山形交響楽団の維持、運営に当る。

**昭和51年～**　酒田市に伊藤音楽院を開設。
地方文化の進展、芸術音楽の普及に努めるとともに、作曲家、指揮者として活躍。山形交響楽団、宮城フィルハーモニー管弦楽団等を指揮する。

**昭和54年～**　東北各地で開催されている「東北の作曲家」（日本作曲家協議会主催）という作品発表のコンサートに、毎回作品を発表し、好評を博している。

**主要作品**　交響詩「庄内」（東芝ＥＭＩレコード）、前奏曲「悲しみを越えて」（東芝ＥＭＩレコード）、「雪の幻想」、「交響変奏曲」（東芝ＥＭＩレコード）、「オーケストラのためのコンポジション」等の管弦楽曲をはじめ、歌曲、合唱曲、ピアノ曲、室内楽曲等がある。

「地方の時代」という言葉が使われ始めてから、かなりの月日がたちました。しかし、私達裏日本に住む者にとって、それはまだ遠い先のことのように思えます。

そこで、東北に住み、東北で音楽活動をする者のひとりとして、現在の東北の姿を音楽として表現してみようと思いました。

曲は、Ａ－Ｂ－Ａの三つの部分から出来ています。

Ａの部分には、二つのテーマがあります。始めに、三つの全音と、三つの半音による上昇音と長七度の下降音からなる旋律が現われ、次に、動きの多い、不安定な旋律が奏されます。前者は、発展や後退を繰り返し続けている東北の現況を、後者は、不況や、減産、凶作に悩み、苦しみ、混迷する人々の様子を表わしています。

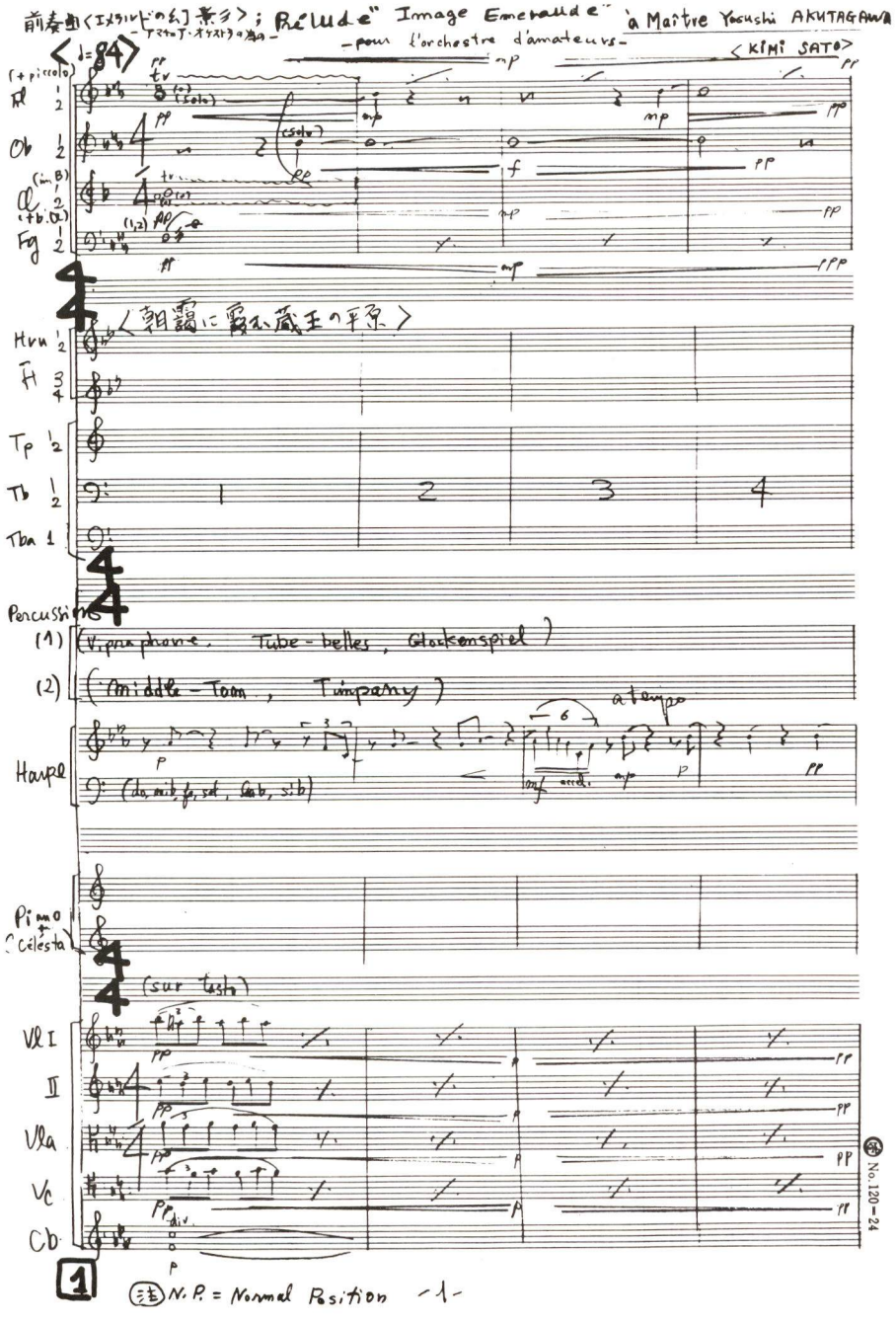
Ｂの部分は、牧歌的な部分で、東北の美しい情景であり、またそれに対する限りない愛着の気持です。

そして、もう一度Ａの部分が、わずかに形を変えて再現され、バイオリンの短かいソロで、消えるように終わります。

# 前奏曲「エメラルドの幻影」

**作曲年代**　昭和59年

**楽器編成**　フルート2（2番はピッコロ持替）、オーボエ2、クラリネット2（2番はバス・クラリネット持替）、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、トロンボーン2、チューバ、ティンパニ、中トム、ヴァイブラフォン、グロッケンシュピール、チューブラー・ベルス、ハープ、ピアノ、チェレスタ、弦5部





# 佐藤喜美

**昭和24年**　仙台に生まれる。
**昭和46年**　桐朋学園　　大学作曲科卒業（入野義郎師事）。
**昭和47年**　渡仏、パリ国立音楽院作曲科首席入学（オリヴィエ・メシアン師事）。
**昭和52年**　フランス文化省給費を受ける。
**昭和53年**　パリ国立音楽院を一等賞を得て卒業。メシアン来日の際、通訳をつとめる。フランス政府給費を受ける。
**昭和55年**　フランス・キュルチュール放送で1時間半に亘り、全作品が放送される。フランス文化省給費を受ける。
**昭和56年**　東ドイツ音楽団体の招待により渡独、弦楽のための「空の青」を、東ドイツ国立オペラ劇場にて上演される。
**昭和59年**　ニューヨーク、カーネギー・ホールにて、オーケストラのための“Ailleurs”が、岩城宏之、アメリカ交響楽団により演奏される。
**主要作品**　「空を見上げると…」、「Le Cadre Blanc」、「Espace」、「超・空・音」、「空の青」、「嬰ト」、「夏日記—蟬、滝、鳥」、「Ailleurs……」、「Mon solei, je ne connais que toi」、「Bleu et Bleu」

ある日、ふと気がついてみたら、私の囲り全て「コンテンポラリー・ミュージック（現代音楽）！」という訳で、無調だ、セリーだ、電子音楽だという世界で私は生きていた。

所が去年、ご縁があって、宮城フィルの「行進曲の夕」で、ピアノを弾かせていただいた。その時、エルガーの行進曲の金管楽器の大音響にうずもれながら、オーケストラの中で、ピアノを弾く事に、絶大な喜びを見出してしまった。

作曲家は通常、音の「外側」にいて、音との接点を直接、肌で感じる機会が少ない。

時、あたかも同じくして、芥川也寸志先生から、新交響楽団の新曲委嘱のお話があった。氏の出された条件は次の通りであった。

(1)　アマチュア・オーケストラの為である事。
(2)　調性風である事。
(3)　東北の感じが出ている事。

これらの条件は、私にとって未開発の分野であったので、喜んでお引受する事にした。

新交響楽団という本当に音楽を愛している人々に演奏される事は、嬉しい事であり、この機会に初めて「調性的」音楽を書くのも楽しい。

さて(3)の「東北風である事」で私は悩んだ。故郷を離れて十数年。

「私の内なる東北」を模索しながら、去年の暮、2ヶ月のパリ滞在中、思い悩んでいた。そして、柔かい日ざしのある午後、何とはなしに窓から見えるノートルダム寺院を眺めていたら、眼前に、子供の頃よく登ったあの雄大な蔵王山の神秘的なエメラルド色をたたえた火口湖「お釜」の情景が、顕現したのである。

瞬時に、タイトルが決まった。

「エメラルドの幻影」。

いくつかのテーマをかかえて'84年の元旦に日本に帰り、結局1月3日～19日の間に作曲した。
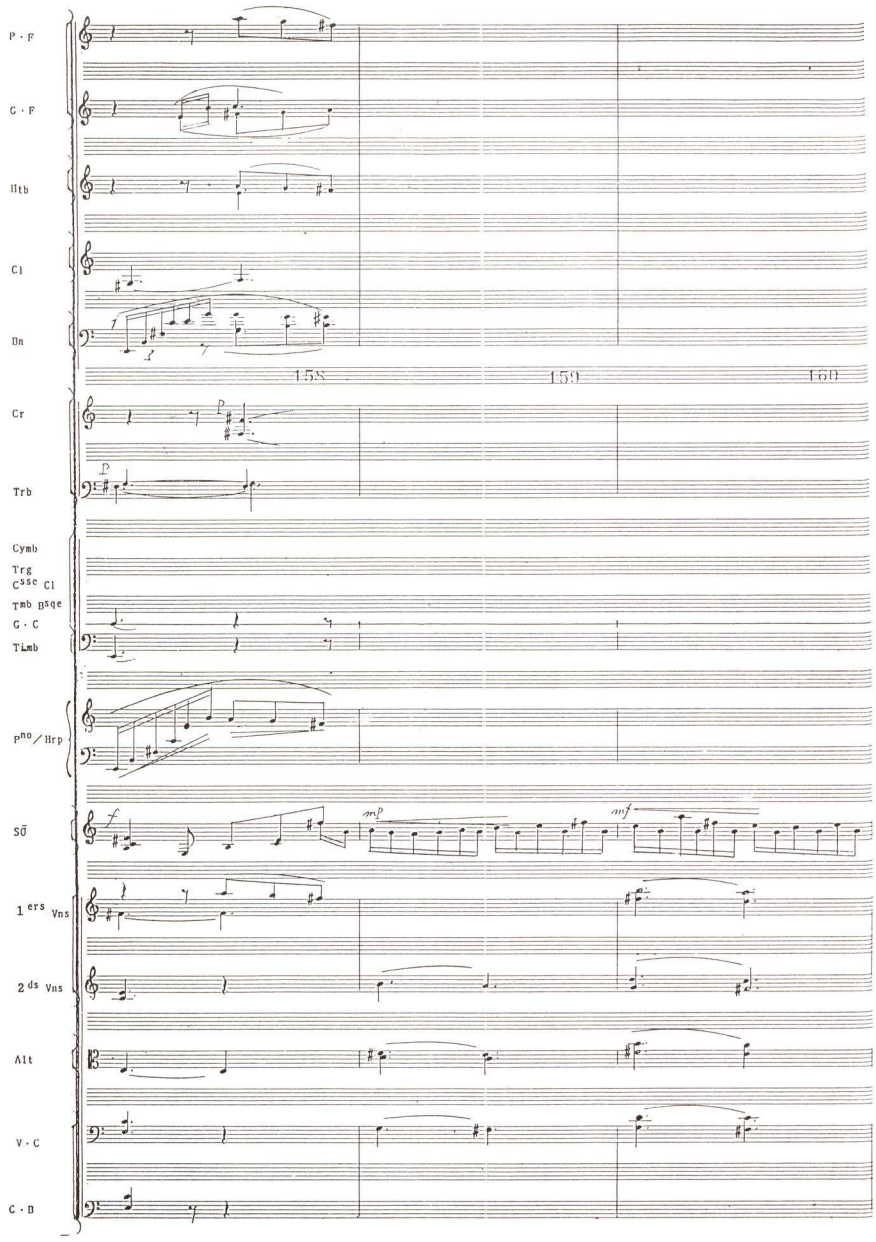
この曲の幾つかのテーマとして、「朝靄(もや)に霞む蔵王の平原」、「火口湖・お釜」、「国立指定天然記念保護植物・駒草」、「雲の流れる天空」等のテーマが随所に現れる。

さて、どんな音が聞こえてくるのだろう……？

この機会を与えて下さった芥川也寸志先生に心から感謝すると共に、この曲を献呈させて頂いた。

# 箏とオーケストラの為のラプソディ

**作曲年代**　昭和58年
**初　　演**　昭和58年7月2日、田中一嘉指揮、岩手大学管弦楽団、箏：松坂尚子
**楽器編成**　ピッコロ1、フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン2、トロンボーン2、ティンパニ、バス・ドラム、スネア・ドラム、シンバル、トライアングル、タンブリン、ハープ、ピアノ、弦5部





# 林芳輝

**昭和９年**　青森県八戸市に生れる。
桜井隆に作曲の手ほどきを受け、松本民之助、長谷川良夫に師事。

**昭和31年**　東京芸術大学作曲科卒業。

**昭和55年**　大阪音大、東京音大、東京女子体育大を経て、岩手大学に在職。

**昭和56年**　「箏・尺八協奏三章」を作曲。
著書「ショパンの告発」が江戸川乱歩賞候補となる。

**昭和57年**　オペラ「雪の化想」上演（小泉八雲原作、脚色台本は作曲者自身）。
推理小説「ショパンの告発」を出版。

**昭和58年**　「箏と管弦楽のための狂詩曲」を作曲。

**主要作品**　「管弦楽のための序破急」「チェロソナタ」「ピアノ・尺八・鼓・締太鼓のための舞曲（まいきょく）」「邦楽器の為の番舞」「箏・尺八協奏三章」「オペラ〝雪の化想〟」

邦楽器との“出会い”は1975年、三橋貴風氏と日本音楽集団有志の方々に演奏していただいた「尺八・鼓・締太鼓・ピアノのための舞曲（まいきょく）…舞立ち・番舞（つがいまい）・走舞（はしりまい）」が最初。貴風氏と彼の仲間達のおかげで、邦楽器の“しぶみのある艶（あで）やかさ”を知った。この作品を踏台として、再度尺八の曲を書きたいという気持を抱きながら６年を経過。その６年間、気分転換に推理小説を書き始め、作曲よりも短編小説に熱中。そしてやっと 1981 年に「箏・尺八協奏三章」となった（初演：松坂尚子・高橋禎徳・岩手大学管弦楽団）。「協奏三章」ができるまで“気分転換”ばかりでなく、活動の場も東京から盛岡に移り、「協奏三章」初演直前に、推理小説「ショパンの告発」が江戸川乱歩賞の最終候補の四編の一つに選ばれるというハプニングもあった。

「協奏三章」で感じたことは、尺八はオーケストラに対抗することができるが、箏は楽器群に吸収されやすい――ということである。本来、箏は静かに“音色（ねいろ）を見る”楽器でしょうし、日本家屋の中で育った特性（？）としての濃（こま）やかな技法が聞きどころでしょう。それだけにオーケストラとの協演は、箏独特の技法が犠牲になっても仕方ないと思っている。私にとって音の持続のない箏の“音色を見る”という受身的行為は欲求不満になりやすい。また、私だけの偏見かもしれないが、音の持続のない楽器で無調という技法は、退屈極りない――との持論なので、唯々“艶（いろ）っぽい”動きのみを心がけた。モーリス・ラベルは「独奏楽器は派手に動くべきである」との持論をもっていたそうだが、私もそうあるべき――と思っている。

洋楽器と協演すると、箏はどうしても琴柱（ことじ）を動かす回数が多くなる（？）ので、演奏者には文句のいわれっぱなしだったが、馬耳東風と聞きながした。なんと言っても、作曲者の方が強いんですから‼なぜなら、今日の演者は委嘱した本人ですから…。

演者の初演のことば、
……相変らず琴柱を動かす事に悩まされています。強引にお願いした関係上、弱音は云えません。「ほっかぶり」できるところはほっかぶりして……（無断転載）……ということです。

私は曲を演奏者に渡したら、作曲者は口出しをすべきではないと思っているので、表現上の事は、すべて奏者に任せている。

初演は1983年６月３日。盛岡では気候としては良い時期で、少しずれると雨期に入り、箏の音色も変るのではないかと思っていた。東京地方は梅雨が東北より早いので、４月という時期が箏のためには最適で、良い状態で楽器が鳴るのではないかと思う。

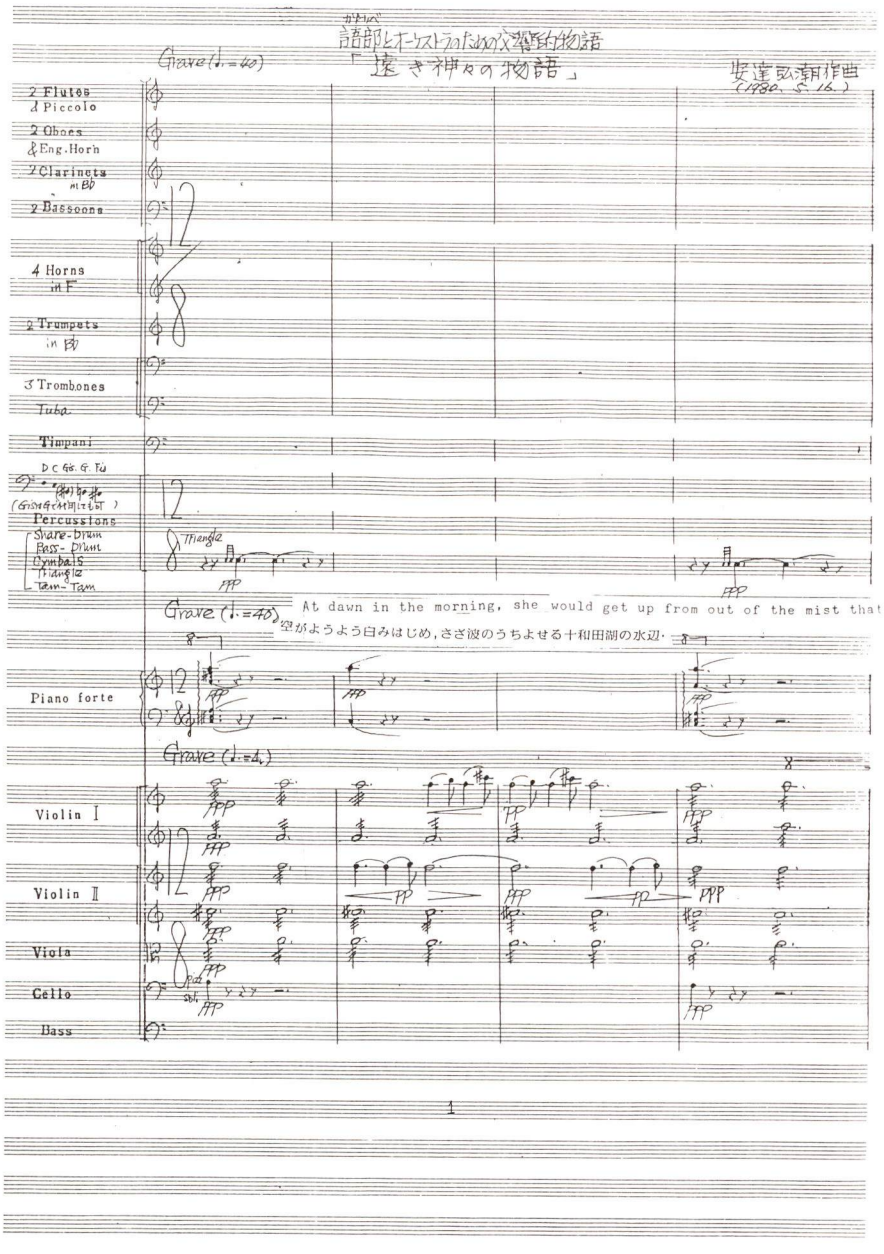
# 語部とオーケストラの為の交響的物語

# 「遠き神々の物語」

**作曲年代**　昭和50年（昭和55年改訂）

**初　　演**　昭和50年　作曲者指揮、弘前大学管弦楽団、
改訂初演：昭和55年9月4日　作曲者指揮、宮城フィルハーモニー管弦楽団、語り、熊倉一雄

**楽器編成**　フルート2（2番はピッコロ持替）；オーボエ2（2番はコール・アングレ持替）、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、トロンボーン3、チューバ1、ティンパニ、バス・ドラム、スネア・ドラム、シンバル、トライアングル、タム・タム、ピアノ、弦5部



# 安達弘潮






**昭和10年**　山形市に生れる。

**昭和32年**　山形大学教育学部特設音楽科卒業。在学中、作曲を下総皖一、斎藤鉱吉、中田一次の各氏に師事。ファゴットと指揮を中田一次氏、トロンボーンを山本正人氏に師事。

**昭和33年**　日本大学山形高校教諭。

**昭和42年**　弘前大学教育学部講師、昭和48年に同助教授。

**昭和44年**　弘前大学フィルハーモニー管弦楽団を結成、常任指揮者をつとめている。

**昭和56年**　文部省在外研究員として、米国・ミシガン州立大学音楽学部で管楽器の教育と指揮法を研究、同大学のオーケストラやバンドを客演指揮する。

**主要作品**　管弦楽曲として「ラプソディー・イン・津軽」「組曲〝津軽〟」「組曲ストーン・サークル」その他、歌劇「阿古耶姫」、吹奏楽曲、合唱曲などがある。

**現　在**　弘前大学教育学部助教授
日本作曲家協議会会員
日本吹奏楽指導者協会会員

この曲は、1975年〝遠き神々の幻想〟として、弘前大学フィルハーモニー管弦楽団の第6回定期演奏会のため作曲し、同年11月に発表したものを、さらに手を加え書き直し、1980年に酒田市、1982年に弘前市で、語部役の熊倉一雄氏と共に、日本作曲家協議会主催の〝東北の作曲家〟で演奏されてきたものである。
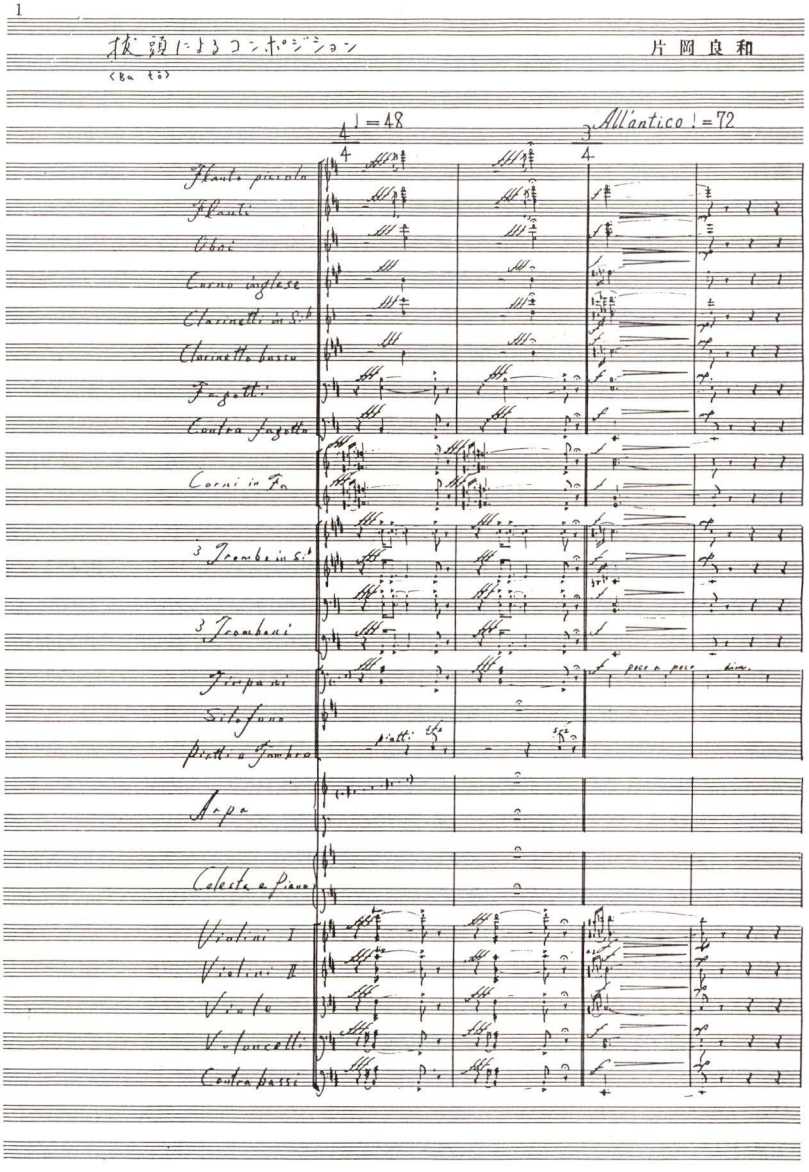
この曲は文字通り、語部のナレーションを加え、それをオーケストラで劇的に表現してみようとした交響的物語である。素材は津軽の民話「赤神と黒神」である。

ストーリーは、男鹿半島に住む赤神と、竜飛（たっぴ）崎に住む黒神が、十和田湖の美しい女神を中心にしていさかいを起こし、それはやがて決闘にまで発展、劇的な進行と結末を迎えるというものである。この実に荒唐無稽な民話は、男鹿半島と竜飛崎、そして、十和田湖が舞台であり、それらがすっぽりと入るようなカメラアングルが必要とされるのが面白い。そうした中で、神々達に、人間社会に良くありがちな三角関係を演じさせていることが実に親しみやすく、さらに興味深い事は、恋に破れた黒神のため息で、いままで陸地続きであった本州と北海道が陸離れをするという、地球物理学上の大陸移動説をも象徴していることである。そして、黒神は、まだどこかに潜んでいるらしく、昨年のような大きな地震を時たま見舞ってくるものと思うと、この民話もまだ完全には終結してはいないものとも思えてくる。

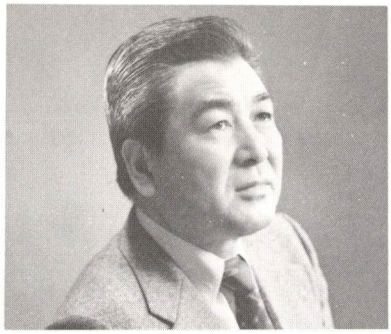
ともあれ、芥川先生と新交響楽団、そして、熊倉一雄さんによって、三たび演奏されることに心から感謝申し上げ、さらに面白く劇的な音楽物語になるものと期待して止まない。

# 抜頭（ばとう）によるコンポジション

**作曲年代**　昭和36年
**初　　演**　昭和36年10月10日　上田仁指揮、東京交響楽団
**楽器編成**　ピッコロ1、フルート2、オーボエ2、コール・アングレ1、クラリネット2、バス・クラリネット1、ファゴット2、コントラ・ファゴット1、ホルン4、トランペット3、トロンボーン3、ティンパニ、スネア・ドラム、シンバル、ザイロフォン、グロッケンシュピール、ハープ、ピアノ、チェレスタ、弦5部



# 片岡良和



**昭和８年**　仙台に生れる。
大谷大学卒業後、国立音楽大学作曲科入学。

**昭和34年**　第14回芸術祭において文部大臣賞受賞。

**昭和35年**　国立音楽大学作曲科卒業。

**昭和36年**　交響管弦楽曲「抜頭によるコンポジション」の作曲で東京放送賞受賞。

**昭和37年**　牧阿佐美バレエ団の依嘱により芸術祭参加作品として「飛鳥物語」を作曲(芸術祭奨励賞受賞)。

**昭和40年**　音楽の友社より「名曲コレクション」として、D10、D11の２冊部を出版、その他舞踊曲、交声曲等の作品を発表。

**昭和42年**　宮城県芸術祭に女声合唱組曲「愛の泉」を発表、音楽の友社より出版。

**昭和49年**　ＮＨＫの依嘱により昭和49年度芸術祭参加作品として―宮沢賢治の童話によるカンタータ―「鹿踊りのはじまり」を作曲（芸術祭優秀賞受賞)。
昭和49年度宮城県芸術選奨受賞
宮城フィルハーモニー管弦楽団を創立

**昭和52年**　日本青年会議所全国大会記念事業の―交声曲―「雄飛」を作曲

**昭和54年**　中新田文化会館（バッハホール）建設専門委員として建設企画に参加

**昭和56年**　ＮＨＫの依嘱により昭和56年度芸術祭参加作品として―合唱組曲―「津軽まんだら」を作曲

**その他の主要作品**　交響曲「黒潮」。マリンバ協奏曲。アルトサキソフォーンと打楽器のための協奏管弦楽（東芝ＥＭＩ）

**現　在**　見瑞寺住職、代表役員　(社)宮城フィルハーモニー協会理事　宮城県芸術協会理事　日本作曲家協議会会員　国立音楽大学評議員　国立音楽大学同調会宮城支部支部長

雅楽「抜頭(ばとう)」は幼時から親鸞聖人御正忌の度毎に耳にしたもので、在家の人々がアセチレンのにおいに、子供の頃お祭りに行って手にした綿菓子を想い起こす様に、私にとっては郷愁に似たものがある。それ故、作曲の道に進む為に上京する際、ノートに採譜し携えて来た。その後幸にも芝祐泰氏に雅楽について学ぶ機会をえて益々「抜頭」の魅力にとりつかれ、何の躊躇する事なくあえてこの完成された古典に現代の息を吹き込み、子供の感覚としての日本を表現しようと試みた。

この楽曲は五章から成り立っている。各章に主題をおいているが、それはいずれも「抜頭」を中核として生まれたものである。

**〈第一章〉　アンダンテ**　冒頭最強音の全合奏に続いてすぐ弦楽のＬａ音を中にゆれ動く主題に入り、直ちに金管によって、第三章の動機の一つともなるエピソード風の楽句が鳴り響く。その後主題がうねりながら進行し発展して、結尾部ではビオラを先頭に各楽器が次々と主題をカノンでかぶせながらクレッシェンドされ、その中を金管と打楽器が鐘の音を響かせている内に*fff*で終る。

**〈第二章〉**　第一章から引き延ばされたコールアングレの音にさそわれ笙を思わせる和音にのって、クラリネットで導入される。この章は合歓塩に似た旋律が支配するうちに低音のオスチナートが続き、今まで出て来た旋律が時折顔をのぞかせながら結ばれる。

**〈第三章〉　アレグロ**　初めに第一章、第二章の主題による短い序奏があり、低音楽器がリズムを刻んでいる所へ、群参の人々の賑いを見る様な華やかな旋律が入る。この部分はＡＢＣＢＡに大別され、Ａは第一章に金管で鳴らされたエピソード風な動機が執拗なまでにＭｉ音を起点に五度上ったり下ったりしながら繰り返される。Ｂは第二章の変容された早い部分。Ｃは第一章の変容とで形作られたもので、簡潔ながら他の章が縮少された部分とでもいえようか。

**〈第四章〉　モデラート「抜頭」**　この章では他の章の発想となる「抜頭」をただ管弦楽に移しかえるというのではなく、一度雅楽を離れて検討した上、再び雅楽にたちかえり、交響管弦楽の色彩、ダイナミック、流麗さを現代人の耳に快く響くように織り込んでみた。

**〈第五章〉**　第三章の省略された繰り返しで、最高項のうちに曲が終る。

以上の様にこの曲は図式で書けば、「抜頭」→第一章、第二章→第三章となり、いわば一種の連鎖反応を起こした曲である。又見方によっては、第一章、第二章はソナタ形式に於ける提示部、第三章は展開部とも見ることができる。よってこの楽曲に「抜頭によるコンポジション」と名付けたのである。

(東芝ＥＭＩレコード解説より)

STEINWAY & SONS

# スタインウェイを選ぶ
# それは、「妥協」との訣別。

繊細な音楽をあますことなく表現する
芸術家の感性、そこに妥協はありません。
内外の著名ピアニスト、全世界のコンサートホール、
そして録音スタジオが選んだ
スタインウェイ コンサート グランド ピアノ
お確めください。貴方の指で、心で…。






弊社ショールームは数々の**スタインウェイ ピアノ**を心ゆくまでご試弾頂けるよう、最高のコンディションで常設するばかりでなく、**ノイペルト チェンバロ**、**ライオンヒーリー ハープ**、**小型パイプオルガン**等も取り揃え皆様のお越しを心よりお待ちしております。

※美しいカタログを用意しております。機種名をご記入の上、お申し込みください。

※お求めやすい長期(2~60回)ローンのお取り扱いをしております。ご利用ください。

日本総代理店 株式会社 松尾楽器商会

東京都港区芝大門1丁目9番1号 TEL.(436)4331(代)
国電：浜松町駅下車7分 地下鉄：大門駅(都営浅草線) 御成門駅(都営三田線)下車4分

フジサキの商品券は、北海道から
九州まで…全国34都市・39店舗の
百貨店でご利用になれます。

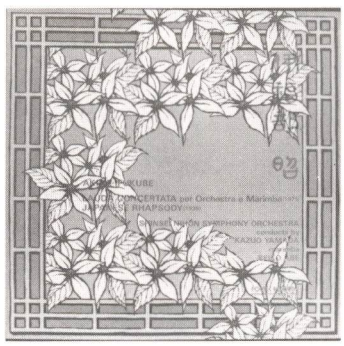
# フジサキの商品券

●遠くにお住まいの方への贈りものに手軽で便利。
●全国34都市・39の百貨店でご利用いただけます。
●先さまがお好きな時に必要なものをお求めになれます。

●お祝い／結婚・卒業・入学・出産など
●お見舞い／病気・寒中見舞など
●ご挨拶／歳暮・中元など
●お餞別／転勤・引越など




ファッションデパート
仙台
藤崎
0222(61)5111／木曜定休



伊福部 昭
## ラウダ・コンチェルータ、日本狂詩曲
●FONC-5031　¥2,500

日本作曲界の重鎮、伊福部 昭の代表作2曲を
熱気あふれるライブ録音で捉えた好評盤！
指揮/山田一雄 演奏/新星日本交響楽団 マリンバ/安倍圭子
1979年9月12日、1980年5月13日　東京文化会館におけるライブ録音

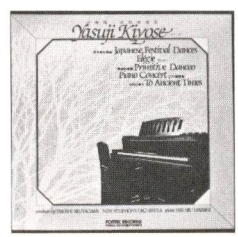
早坂文雄
### 映画「羅生門」より



映画「羅生門」より5曲、古代の舞曲、管弦楽のための変容
指揮/芥川也寸志
演奏/新交響楽団

FONC-5041　¥2,500

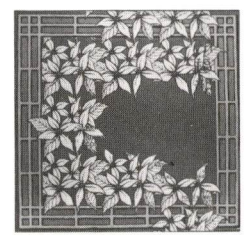
清瀬保二
### 日本祭礼舞曲他




日本祭礼舞曲、エレジー、原始的舞踊、ピアノ協奏曲、古代に寄す
指揮/芥川也寸志
演奏/新交響楽団
ピアノ/林　光

FONC-5039　¥2,500

伊福部昭
### タプカーラ交響曲他



タプカーラ交響曲、ヴァイオリン協奏曲第2番
指揮/芥川也寸志
演奏/新交響楽団
(ヴァイオリン)小林武史

FONC-5030　¥2,500

FONTEC RECORDS
▶全国有名レコード店で好評発売中です。もしお近くのレコード店で手に入りにくい場合、下記住所にお申し込み下さい。
▶直販システムもございます。(梱包送料＝2枚迄/600円、3枚～6枚/700円、8枚～10枚/800円)料金は後納です。
▶カタログを用意しました。お申し込み下さい。(無料)
㈱フォンテック　〒167 東京都杉並区荻窪5-16-15 ☎(03)393-0183

永遠のテーマです

# 誠意と誠実。

イメージを赤、青、黄、黒のたった4つの要素で一切の物事を紙の上にもりつけ、かたちとして美しく表現するのが印刷です。しかし、そのもりつけかたによっては、意図したかたちやイメージがさらに効果を上げたり、また、イメージをそこねてしまったりすることもあります。私たちは、これからもみなさまから与えられたイメージを的確にとらえ、より忠実に〝創り〟さらに実効的にもりつけ、かたちにするため誠実な努力と技術を惜しみません。それが私たちトープロの仕事であり、永遠のテーマです。



セールスプロモーションのご案内

商品カタログ・ポスター・パンフレット・DM・リーフレット・カレンダー・年史・社史・事業誌・PR刊行物・各種パッケイジなどの立案・編集・制作

トープロ
Topro

〒104 東京都中央区入船3-10-9☎(03)553-1621㈹






販売・修理・調整・弦楽器専門店

東京弦楽株式会社

〒153 東京都目黒区目黒1-5-16国際商事ビル B2

TEL.03-494-1441

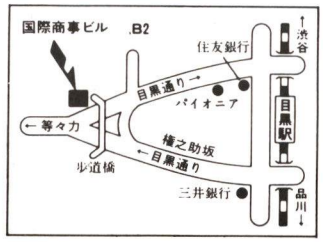
名古屋店

〒460 名古屋市中区新栄2-1-9雲竜ビル東館501号

TEL.052-261-4663

●営業時間……10:00～20:00

●修理受付時間……10:00～18:00



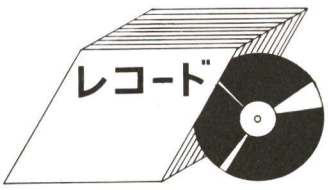


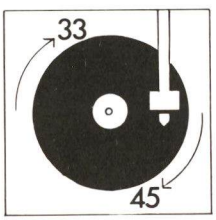

# たったひとつのオタマジャクシも大切にしていきたい。

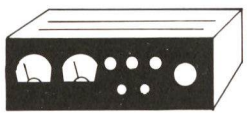
社団法人 日本音楽著作権協会(音権協)
理事長　芥川　也寸志

# 高価買入!! 現金

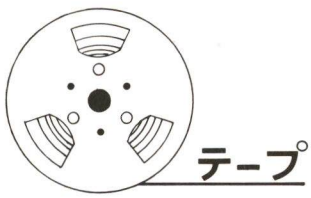
## オーディオほか関連機器も……

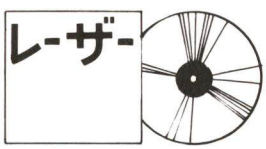


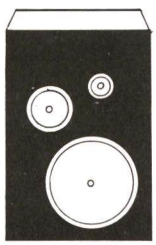







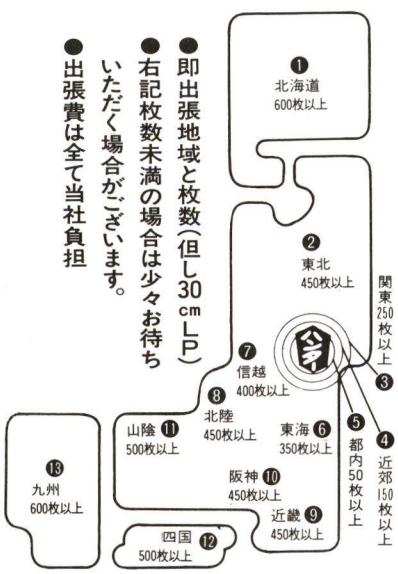



●レコード・ミュージックテープ・CD・オーディオ関連機器。その他、スキヤ橋1号店へご相談ください。

★不聴盤(LP)は費用当社負担の都内(23区)の出張枚数が50枚以上と便利になりました。

●即出張地域と枚数(但し30cm LP)
●右記枚数未満の場合は少々お待ちいただく場合がございます。
●出張費は全て当社負担




### 不聴盤ご処分のご注意!

●不聴盤をご処分の際は古物法に基づき住所確認のできるもの（身分証明書・免許証等）と印鑑をご持参ください。なお20歳未満の方は上記書類のほか保護者の承認が必要です。

### 大量ご処分の際は出張致します。

●大量にご処分の際はご一報あり次第、ご自宅まで出張費当社負担でお伺い致します。また遠方の場合、お友達でお誘い合わせの上で、合計枚数が左記枚数にまとまれば出張致します。

同業者の方のご処分も歓迎します(デッドストック等)

## 低価販売!!

LP・EP・ミュージックテープ・CD

レコード在庫品の内容がめまぐるしく変わるため、特別にリストを作っておりません。勝手ながらリストのお問い合わせはご容赦ください。

レコードの専門店 ハンター 東京・銀座

スキヤ橋1号店：〒104 東京都中央区銀座5-4 スキヤ橋ショッピングセンター2F……☎03(572)3307～9 年中無休●AM10:30～PM8:00
スキヤ橋2号店：〒104 東京都中央区銀座5-4 スキヤ橋ショッピングセンター2F……☎03(571)3440 年中無休●AM10:30～PM8:00
ソニービル店：〒104 東京都中央区銀座5-3-1 ソニービルB1ガレリア……☎03(571)3557 年中無休●AM11:00～PM8:00
渋谷店：〒150 東京都渋谷区神南1-15-7公園ビル2F……☎03(462)2741 年中無休●AM11:00～PM8:30
大井町店：〒140 東京都品川区大井1-1-20……☎03(772)7803 年中無休●AM11:00～PM8:30
都立大店：〒152 東京都目黒区中根町1-2-14目黒通り中根町交差点角……☎03(718)7424 年中無休●AM10:30～PM8:00

# 世界一への進行形。



カワイの目標は、世界一のピアノ。それは、芸術家たちの表現の道具に求める理想そのもののような楽器をつくることです。このため、ピアニストのみなさまと技術者との対話が、長い期間積み重ねられてきています。1980年10月、カワイは静岡県竜洋町にグランドピアノ専門の工場を建設しました。なかでも最新の研究機器を完備した研究所。ここでは、ピアニストのみなさまにご協力を仰ぎながら、ピアノづくりの原点を追求する、たゆみない研究が続いています。この研究がはぐくんだもの。それがカワイ・グランドピアノ"EX"です。

KAWAI CONCERT PIANO EX BORN 1981

88鍵7与オクターブ／高さ＝103cm／間口＝158cm 奥行＝275cm 鍵盤高さ＝73cm 総重量＝500kg アリコート方式 鍵盤＝象牙・黒檀 3本ペダル／大屋根突揚棒＝3本 響面台角度＝31度 ダブルキャスター／黒艶仕上げ

世界一のピアノづくりをめざして… ㈱株式会社 河合楽器製作所 本社■浜松市寺島町200番地 ☎〈0534〉54－2131

---

全国品評会第一位

酒王

初孫

東北銘醸株式会社　酒田市本町３丁目

---

★良い家具をより安く。日本海時代に大きくはばたく

日本海家具センター

大滝

山形県余目町　余目バイパス通り　☎ 0234 ㊸ 3257(代表)

伝統仙台箪笥製造元

仙台箪笥伝承技術保存会

# 熊野洞

店舗(営業所)　仙台市小田原七丁目２－１　〒983
ＴＥＬ（仙台0222）23－５８９７
仙台市一番町信用堂ギャラリー
● 工　場　仙台市岩切昭和北１（上台）　〒983
ＴＥＬ（仙台0222）55－８６７３

# 海からのおいしい贈物

活きのいいサカナは
海から届く自然の恵み
みちのくの香りをそえて
新鮮さそのまま、
ヘルシーフードになりました。
鐘崎の笹かまぼこ



まごころを味に託して
かまぼこ
鐘崎
食品衛生推奨の店
本店・仙台市一番町3丁目5-12☎65-4531㈹

世界へはばたく

# Pygmalius



上級者向けソロ用として、
当社の送りだす最高級品ブランドです。
創業以来培われてきた製作技術の全てを
つぎこみ製作したこのブランドは、
他に類のない程に自信を持って皆様に
お勧めできる音質・音量を持っており、
楽界の多くの著名なバイオリニストにより
試奏して頂き、驚嘆にも似た称賛の言葉を
いただいております。
使用される部品の数々に至るまで全て手作りの上、
仕上げも熟練した技術員が一台一台心をこめて
塗り上げたものです。
音質や音量共にその風格のある姿も
是非一度手にとってお確め下さい。
※ピグマリウスには、バイオリンの他
ビオラ、チェロもございます

**好評発売中**

文京楽器製造株式会社
〒112 東京都文京区小石川2-1-11
Tel. 03−811−2084（代）

●工房製分数バイオリン・バイオリンケース、西独製分数V弓その他、特別注文も承っております。お気軽にお問合せください。

RICOH





# 撮るっきゃないっ。

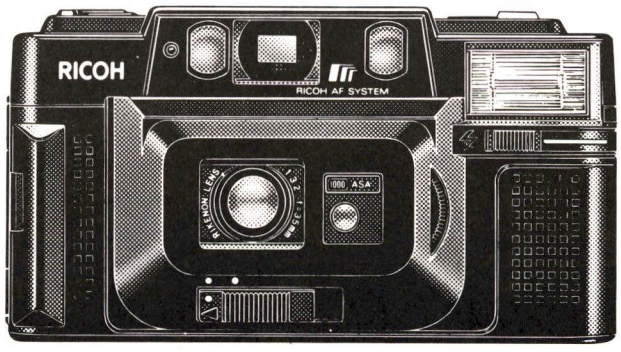




山下久美子

オートフォーカスカメラなら、リコーです。
AUTO AF FOCUS
リコー新開発のLSI使用

日付けが
写真に入る。
デート付き




## マイポート

RICOH FF-3D AF ¥47,800 ケース¥2,000

すべてオートのマイポート。

1 日付けがオートで入る。
2 「フィルムを入れる」がオート。
3 巻上げがオート。
4 ピントがオート。
5 露出がオート。
6 ストロボがオート。
7 巻戻しもオート。
●ASA/ISO1000フィルムが使える。

リコー 光学事業部 〒104 東京都中央区銀座6-14-6 ☎03(543)4191